

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第6号

(一社)朝霞地区薬剤師会

発行人: 広報委員長 細川 玄機

〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL:048-483-4125 FAX:048-483-4126

asaka-ph@asakaph.or.jp

平成最後の年を迎えて 会長挨拶



春色なごやかな季節となりましたが、今年最初の「あさやくだより」です。

インフルエンザが猛威をふるったこの冬、会員のみなさまには気の抜けない日々が続いていたことと思います。そして、いよいよ平成最後の年となり、干支の上でも12支最後の亥（いのしし）年を迎えました。

平成27年に一般社団法人となった朝霞地区薬剤師会も、立ち上げ当初の目的であった運営体制基盤がほぼ整いつつあり、理事会、委員会、事務局がしっかり連携して地域にとっても会員にとっても有意義な事業を行えるようになってきました。

5年目となる今年は、次の目標に向けて新たなスタートを切るための、総括と準備の年にしようと考えています。そのためには、会費の値上げは避けて通れない問題です。定時総会で無事可決されることを願うばかりです。

私見ではありますが、薬剤師という国家資格を持ったら、必ず日本薬剤師会に入会していただきたいと思っています。私たち薬剤師は業種が多様であり、日々、目の前の業務で

精一杯になりがちなのですが、薬剤師という職能が社会とどのように関わり意味ある存在となっているかを考えることが、とても重要と思うからです。

月に一回送られてくる日本薬剤師会報や県薬雑誌の中にある記事や会務報告を読むだけでも、色々な場面に多様な薬剤師が関わり活躍していること、職能集団として行政との関わりや立場、最新の医薬情報や研修会の様子などを知ることができます。自己研鑽は何よりも大切ですが、小さな薬局の中で狭くなりがち視野を広げる意識は、客観的な視点から患者中心の医療を考えるためにも大変有効と思います。

国家資格であり、地域、県、国という三層構造になるため、会費が積み上がることは悩ましいのですが、信頼される職能として就労も収入も一定のレベルが確保されているのは資格があるからこそで、それを忘れてはならないと思います。

当薬剤師会は、今年も地域に勤務又は在住する薬剤師を応援してまいります。ご協力・ご支援、よろしくお願いたします。
(会長 畑中 典子・株式会社かくの木)

平成30年度新年会 (2月2日)

ご来賓、会員の皆様合わせて55名をお迎えし、今年もベルセゾンで新年会を開催いたしました。

畑中会長の開会の挨拶の後、穂坂泰衆議院議員、並木武洋新座市長、埼玉県薬剤師会会長代理・池田里江子常務理事、セコム医療システム顧問・埼玉病院名誉院長関塚永一先生、そして駆けつけてくださった村山正昭朝霞地区医師会会長からもご挨拶をいただき、小田美良監事の乾杯とともに新年会スタート！

和やかに会話が弾む中、昨年の市民フォーラムでも好評だった有志による寸劇「薬にまつわるサスペンス劇場」を楽しみ、「ディズニールンドペアチケット」や「毛ガニ」などが当たる豪華抽選会でも会場が大いに盛り上がりました。

年に一度ではありますが、いろいろなお立場の方々とお話ができて有意義な時間を過ごせたことにとても感謝しております。

ご参加くださった方々、本当にありがとうございました。来年も皆様のご参加、お待ちしております。



新年会の様子はこちら！



ポリファーマシー対策事業報告会 (3月5日)

平成30年度埼玉県委託事業「薬局薬剤師による多剤併用（ポリファーマシー）対策事業」の報告会には、保険者である朝霞市・志木市・新座市・協会けんぽの担当者、朝霞地区からは、医師会、薬剤師会ポリファーマシー委員、受託者である県薬剤師会、オブザーバーとして和光市・富士見市・埼玉県後期高齢者医療広域連合等、事務局として県薬務課など、計34名が出席しました。

2018年5月から2019年2月までのスケジュールに沿い、関係機関との協議、薬剤師向けワークショップ、患者抽出、患者面談と医師への情報提供、各アンケートの集計までを報告し、参加者からいろいろな意見や質問をいただきました。

この事業に必要なツールの作成から面談の実施まで、会員の皆様の協力なしには可能ではありませんでした。朝霞地区だからこそ最後までなした事業であるとともに、これからの薬剤師に求められる本当のかかりつけ薬剤師としての機能を発揮するチャンスでもありました。

2019年度も事業は継続の予定です。今後ともご協力をよろしく願います。詳しい報告は総会で行います。

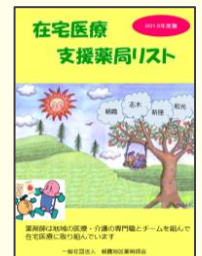
(和光支部長 清水 勝子・新倉健康薬局)

在宅医療支援薬局リスト 第2版発行

『在宅医療支援薬局リスト2018年度版』を12月に発行しました。昨年度は、各医療機関や各市の行政並びに包括支援センター、事業所などに配布、多くの反響を頂いて、新たに手上げのあった薬局や一部内容変更などを加えての最新版です。

地域ケア会議の中でも薬局の必要性が大きく縮めており、特に残薬や薬の多さ（ポリファーマシー）に、ご本人やご家族そして介護する方々が、様々な問題を抱えています。さらに自宅での療養生活に不安を抱いている方も多く、そこそこが薬剤師が持つ薬識が大きく発揮できる場だと考えます。リストを多くの方に利用していただき、薬剤師としての大きな役割を担っていただければと思います。

依頼があれば積極的に在宅医療に臨んでいただくことを希望しております。
(理事 大八木 実・フレンド薬局)



リストはこちらで
閲覧・印刷できます



**クライテリア活用のための
ワークショップに参加して**



ポリファーマシー対策事業に参加して

母校の公開講座で、NHKの医療番組ドクターGで有名な総合診療医 徳田安春先生の講演を聞く機会があり、その中で、経管栄養で16種類の内服薬、ほぼ寝たきりの高齢者のケースが紹介されていました。向精神薬が8種類も含まれており、調整して3種類に減薬したところ7日で食事が自立摂取まで回復したとの説明に、改めて多剤併用の弊害を痛感しました。

翌年、日薬学術大会で今井博久先生の講演を聞き、薬剤師に出来る事を模索している時に、ポリファーマシー対策事業の一環として開催されたワークショップに参加しました。Criteriaを元に不適切処方を探す作業はなかなか難しいものですが、グループディスカッションを通して、自分に不足している考え方に気づくことが出来ました。日々の投薬の中で、その患者様にとっての最適な処方、薬物治療は何か？ という視点で常に考えることが出来るようになったと感謝しています。
(C・I あおい調剤薬局)

卒業して今年で3年目に入ります。今回、事業に参加したことで、面談を通して患者さんの生活をみる事ができました。また、この事業は、かかりつけ薬剤師にも繋がる取り組みだと思いました。自分1人では悩む部分もあり、周りの先輩達にも協力してもらいました。現在は必要がなくても、今後ヒートから取り出しにくくなってきたら一包化をするという提案もできるといいね、などのアドバイスは参考になります。情報提供文書の書き方では、クライテリアであがったものをすべて書くより、医師に見てもらふことや、今後このような機会が増える場合も考え、変更や減量が可能な薬についてのみ書き、それ以外は備考欄に書くなどで、医師の負担も考慮しました。患者さんと信頼関係を築くことができ、現在も担当という形で関係は続いています。大変有意義な事業に参加できたと感じています。

(杉山 陽香・かくの木薬局)

地域連携委員会研修会 (2月19日)

今年度の地域連携研修会は、戸田中央総合病院薬剤科 がん薬物治療認定薬剤師の石森雅人先生を講師にお迎えし、「肺がん薬物療法～処方を読み解く～」を開催、ご参加くださった皆様(保険薬局薬剤師44名、病院薬剤師9名、計53名)から大きな反響をいただきました。

「処方を読み解く」とは、患者の病状を把握し、今後起こりえる有害事象等をイメージすること。これこそが患者を「想う」服薬指導につながるのだと思います。そのためには日々の業務の中で、患者とその薬にちゃんと向き合うことの積み重ねが大事だと強く感じました。また、病院薬剤師と薬局薬剤師の働くフィールドは違いますが、薬に対しての考え方や目的は合致する部分も多く、薬々連携の重要性を再認識すると共に、お互いが親近感を感じられた研修会となりました。(地域連携委員長 織田 朋久・あおぞら薬局)



学術委員会研修会・吸入指導研究会 (11月20日・3月7日)

第5回吸入指導研究会は、伊藤玲子先生（日本大学医学部 内科学系呼吸器内科学分野）をお招きしました。個々の患者さんに合わせた吸入指導の重要性を再認識し、メディカルパフォーマンスという考えを教えていただき、グループワークでは吸入.comを用いてエリプタのロールプレイを行いました。

第6回では藤原赤人先生（TMGあさか医療センター呼吸器内科）にご講演いただき、スパイロメトリーの見方、重症度に合わせた治療法を学ぶ事ができました。ブリーズヘラーを用いて3症例のグループワークを行いました。

2年間で6回の吸入指導研究会を実施し、朝霞地区から10名前後の埼玉吸入指導初級マイスターが誕生します。来年度も学術講演会と合わせて吸入指導研究会を開催予定です。

（学術委員会委員 上妻 加奈・かくの木薬局）



埼玉西南地区骨代謝研究会 (3月6日)

医師、歯科医師、コメディカル、総勢66名が参加して、第3回埼玉西南地区骨代謝研究会が開催されました。

TMGあさか医療センター歯科口腔外科部長 島崎先生から「顎骨骨髓炎の実態」、牧田産婦人科医院院長牧田先生から「妊娠検査時の骨代謝関連検査の新たな試み」の報告の後、松本歯科大学主任教授 田口先生の「骨粗鬆症患者における顎骨壊死対策ポジションペーパー2016の理解」の特別講演がありました。

BP製剤の服薬指導は、休薬の説明ではなく口腔ケアの推奨が大切であることを学びました。休薬による再骨折のリスク、服薬再開時のコンプライアンス低下、などの問題が提起され、薬剤師は常に新しい臨床データに関心を持つ必要があると感じました。朝霞地区ではBP製剤服用中の患者さんのお薬手帳に骨のシールを貼り注意喚起を行っています。かかりつけ歯科医師を持ち最前線の多職種連携地域を目指したいと思います！

（理事 松本 裕司・コスモファーマシー）

第1回薬剤師会勉強会 (3月13日)

研修会とは少し違う小規模の勉強会を開催、第1回目は、当地区会員の増田 英次先生（パル薬局白子店）に「栄養サポートについて」の講義をしていただきました。

普段の薬局薬剤師の業務に必要な栄養療法についてのわかりやすいお話しに、参加くださった方々からも活発に質問、ご意見をいただき大変有意義な勉強会となりました。

勉強会の形式については模索中ですが、今後も定期的を開催していく予定です。

決まり次第メールでご案内します。ぜひご参加ください。

（理事 細川 玄機・三原薬局）



平成31年度 実務実習スタート

平成31年度の実務実習が始まりました。

朝霞地区では、18薬局が44名の実習生を受け入れます。

薬学教育6年制により平成22年度に始動した実務実習は、今年度から新しいコアカリキュラムが適応され、2月25日より1期実習が始まりました。私を含め多くの4年制卒の皆様は大学で「知識」を、6年制となり「知識・技能・態度」を、そして今回それらを生かした「問題解決能力」を学ぶため、今まで以上に患者対応を経験し目標とする薬剤師像に近づけるように実習が変わります。

先日行われました吸入指導研修にも多数の学生さんが参加しており、お話された先生方も多いと思います。今後も地域活動に参加させていただきますので、ご一緒された際にはご指導をお願い致します。

指導薬剤師に興味をお持ちの皆様には、薬剤師の実務経験5年以上や参加人数に限られた研修受講が必要です。研修はすぐ受講出来ない場合もございますが、ご希望の方はご連絡下さい。

指導薬剤師として実習を行うことは自身の勉強になり成長に繋がります。特に6年生卒の実務実習を経験された皆さんは、ご自身の経験を活かせると思います。また、指導薬剤師を目指す自店舗スタッフがいらっしゃいましたら、温かいご支援をお願い致します。きっと薬剤師として成長してくれます。

（実務実習委員長 平田 修士・フラワー薬局）

**2019年度 定時社員総会
ポリファーマシー対策事業報告会
懇親会 開催のお知らせ**

第5回定時社員総会を下記の日程で開催します。

日時：2019年6月1日（土） 18：00～
場所：志木 バルセゾン

総会・報告会 18：00～19：00 6階 FUYO
表彰式・懇親会 19：00～21：00 5階 ASAMA

詳細は、後日改めてご案内いたします。
皆様、ぜひご出席ください。



おすすめの本

ドナルド・トランプの危険な兆候
精神科医たちは取って告発する

バンディー・リー 編, 村松 太郎 訳 (岩波書店/2018)



アメリカの精神科医や心理学者のうち、プライバシー保護という倫理規範を犯してでも「患者が危険な行動を起こす可能性があるときには社会に警告を発しなければならぬ」という別の倫理規範に従うことを選択した有志が、トランプ大統領という「症例」の言動を診断・分析しています。

診断内容も興味深いのですが、薬剤師としては、たった一人の「症例」を約20人もの専門家が詳細に検討した稀有な資料として読むことができます。

(志木支部長 田代 健・地球堂薬局)

アンサンブシンドレラ 病院薬剤師 葵みどり 1巻

荒井ママレ 医療原案: 富野浩充 (ゼノンコミックス/2018)

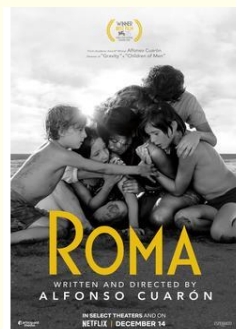


以前朝日新聞で紹介されていたので御存知の先生方もいらっしゃると思いますが、薬剤師会で作ったのかと思うような内容です。薬剤師の仕事を中心に描かれ、患者様からの情報収集、医師への処方・検査の提案、他職種連携・・・と主人公の新人薬剤師や脇役の先輩薬剤師のように出来るのか自問自答したくなる内容。漫画と馬鹿にせず、一度手にとって読んでいただきたい1冊です。私は池袋のジュンク堂書店で見つけましたが、置いてある本屋さんが少ないので、お取り寄せをおすすめします。

(理事 平田 修士・フラワー薬局)

おすすめの映画

「ROMA / ローマ」 配給: Netflix / 2018



「ゼロ・グラビティ」のアルフォンソ・キュアロン監督が、幼少期の乳母リボさんの日常を映像化した作品。昨年のベネチア国際映画祭で金獅子賞、今年のアカデミー賞で、監督賞・撮影賞・外国語映画賞3部門を受賞しました。

地味な予告編からは少々退屈な作品を想像していましたが、

計算しつくされた美しいモノクロ映像は、静かで心地よい余韻を残してくれました。タイトルを含めいくつか残った疑問を後でネット検索したのも楽しかったこと。好き嫌いは分かれそうですが、今年度各国の映画賞を総なめしたのも納得の作品だと思います。劇場未公開、Netflixで配信中。(事務局 野中 浩美)

俳句を楽しむ



(理事 松永仁・松栄堂薬局)

ビル街をやわらに包む夜の雪

干物売る店の後ろに冬の海

傘一本寄添ひ歩く時雨道

踊る輪に入りて地元に戻りけり

皆様からの投稿もお待ちしております。

編集後記

私が訪問している患者様のお宅で、びっくりするような話を聞きました。認知症があるその方、先日一人で越生の梅林を観に出かけたそうです。カメラ撮影が趣味で認知症を患う前からカメラ片手に遠出をしておりましたが、まさか一人で遠出するとは…。この方が認知症だと察したかは定かではありませんが、地元の親切な方が梅園まで送ってくださり、帰りも梅園観光された方が車に同乗させてくださったのだとか。患者様はその親切心に胸を打たれて私にお話してくださいましたが、私は患者様が無事に帰宅されたことでホッと胸を撫で下ろしました。

本年もよろしくお願致します。

(広報委員長 細川 玄機・三原薬局)

広報委員
募集中

お知らせ



(一社) 朝霞地区薬剤師会

TEL : 048-483-4125

FAX : 048-483-4126

E-mail

asaka-ph@asakaph.or.jp

